

静岡県立湖西高等学校

令和3年度 第3回学校運営協議会 概要

1 開催日時 令和4年2月18日(金)13:05~15:05

2 開催場所 静岡県立湖西高等学校 会議室

3 出席者 全9名(順不動)

- (1) 鈴木 聖慈氏 (湖西市教育委員会 学校教育課長)
- (2) 山田 哲也氏 (東海旅客鉄道株式会社 鷺津駅長)
- (3) 中島 剛氏 (豊橋創造大学短期大学部教授)
- (4) 彦坂 昇氏 (プライムアースEVエナジ-株式会社総務人事本部 EA、地域連携担当)
- (5) 飯田 文雄氏 (湖西市表鷺津自治会長)
- (6) 豊田 雅之氏 (湖西高等学校 PTA 会長)
- (7) 小林 孝誌 (校長)
- (8) 渡邊 二三彦 (副校長)
- (9) 川村 勇夫 (教頭)
- (10) 袴田 早苗 (事務長)

4 次第

- (1) 開会のことば
- (2) 校長あいさつ
- (3) 「グローバル・ハイスクール事業」成果報告会参観
- (4) 地域連携のための「グローバル・ハイスクール事業」実施報告
- (5) 「グローバル・ハイスクール事業」に関する意見交換
- (6) 令和3年度学校関係者評価について
- (7) その他
- (8) 閉会のことば

5 議事録

(1) 校長あいさつ

- ・コロナの関係について、学校内の状況報告。
- ・2年生修学旅行は、残念ながらコロナの関係で2年続いて延期となった。来年度に時期と場所を改めて検討した上で実施の予定。
- ・グローバル・ハイスクール事業については、校内外で活発に実施している。今年度は、色々と積極的に試行している状態である。
- ・グローバルという点でも生徒が活動を始めている。先日、県の台湾の高校との交流事業に参加をし、海外の生徒との交流を行った。今後も引き続き行っていきたい。
- ・コロナによりできないことや中止することが多い中、リモートによる研修会等への参加や実施について活発になったことはプラスと言える。
- ・12月県議会の訪問があり、大変好評だった。
- ・1年生徒にも活気が出てきており、今年度の欠席遅刻が非常に少ない。生徒会への参加も多く出ており、生徒会長の立候補者も出ているほどである。2年生はコロナのせいでなかなか学校生活が厳しい中、彼らなりに成長していると感じている。
- ・来年度の入学志願者については、予定数に足りていない。どうすれば多くの生徒に魅力ある学校となるのか、みなさんの意見をぜひいただきたい。

(2) 「グローバル・ハイスクール事業」成果報告会参観

- ・別室にてZOOMを通して視聴した。内容については別紙参照。

(3) 地域連携のための「グローバル・ハイスクール事業」実施報告

- ・資料を参照しながら説明を行った（副校長 別紙参照）。
- ・市内校長会や湖西商工会の会議内で、活動の報告と宣伝を行った。（校長）
- ・湖西市内カレンダーも完成した。カレンダー下部には、本校1年生が作成した湖西検定の一部を掲載している。3月には関係各所に配布をし、本校の活動を知ってもらおうと共に、更なる連携を深めていきたい。（校長）

(4) 「グローバル・ハイスクール事業」に関する意見交換

- ・目標値に対して、生徒保護者のアンケートを比較して評価をした。（飯田委員）
- ・生徒が色々な形で地域連携をしていると感じた。生徒がどれくらい参加しているかを知りたい。（中島委員）
 - ＞部活単位や学年だけでなく、有志も多く参加している。台湾交流では、有志で十数人と多くの生徒が参加しており、積極的に参加している子が多いと感じている。（校長）
- ・鷺津駅前視覚障害者に向けての研修を行っていたのを見たことがある。先日、生徒がエレベーターを使用していたが、障害者やお年寄りのために使いたいと伝えたところ、階段を使用するようになり、その日以降改善された。研修等の影響もあるのだと感じた。駅前での活動や成果発表

会を通して、生徒全体にこのムードが広がればと思う。(山田委員)

- ・始まった1年で、本当に多くの活動を実施したと感じている。大変だったのではないかと感じている。すべての生徒が湖西市からの生徒ではない。この活動を3年間継続することで、湖西高校や湖西市に愛着を感じてくれるといいと思う。そのことを、指導する側が目的の1つとして踏まえていると、より素晴らしい事業となるのではないかとと思う。湖西市の魅力発信という意味でも、今後もぜひ頑張ってもらいたい。(鈴木委員)

＞3年後のビジョンとして既にその視点は持って行っている。2年生には、あえて地元の中小企業の方をお願いをし、生徒に向けて説明会を行ってもらった。今後もそのようなことを積み重ねていき、地元の就職率を上げていきたい。(校長)

＞中学校でも地元企業からの説明会を行って、大変好評だった。普段通学で目にする工場がどのような会社なのかを知ることができ、会社を身近に感じ、そして湖西市への愛着が深まったと考える。高校でも行うとよいのではないかとと思う。(鈴木委員)

- ・今年度は、まず学校全体で種をまいている状態だと思う。湖西市には大企業その他、数多くの産業が存在している。それぞれの産業が大きな産業を支えていることを知り、また具体的にどのようなことを行っているのかということも教育活動の中で行っていってもらいたい。また、湖西市の大人にも湖西高校や湖西市の魅力に目を向けてもらえるよう情報発信等行っていってもらいたい。(豊田委員)
- ・最初にグローバル・ハイスクール事業の話聞いた時は、教員主導で実施すると思っていたが、本日リモート発表会を視聴して、職員と生徒が目的を共有して幅広く活動で来ていることを実感した。またそれが教職員の働き方に大きく影響していない(仕事量の増加になっていない)のは素晴らしい。2年目、3年目に何を主眼において活動を行っていくのかという基軸をしっかり持ち、地域の方々とそして生徒と話し合いながら計画を立てていってもらいたい。地元の企業に係る人間として、やはり地元の企業に就職を希望する生徒が増えるのはうれしい。今後も活動を続けてほしい。(彦坂委員)

(5) 令和3年度学校関係者評価について

- ・資料を説明し、資料と評価案をもとに関係者評価の確定を行った。(副校長 別紙参照)
- ・「あいさつや見だしなみ等、基本的な生活習慣をきちんと身に付けようと意識している」についてはA3人B3人の回答であったため、審議を行った。審議の結果、目標値に対して至っていないということで、B(ただしAに近い)評価を結論とした。
- ・「相談できる先生や場所がある」と答える生徒が80%の項目については、3年前に比べて年々回答の結果が落ちているためBとしたが、委員会で審議の結果、校内の反省も重要だが、成果目標値は超えているためAとするべき、という結論になり、評価Aとした。
- ・審議の中に出てきた問題点や課題等を来年度の経営計画に盛り込んでもらいたいと彦坂委員からの意見があった。
- ・声をかければ反応してくれる、というより自分たちから挨拶できる生徒を育てられるよう頑張りたいと校長が来年度に向けての抱負を語った。

(6) その他

- ・定員割れについての意見やアイデアを委員たちに伺った。

> 公立高校の志願倍率の平均が 1.02 だと新聞報道で見た。その点から、本当に厳しい時代であると思う。ここ 1、2 年はその現象が本当に顕著であると感じている。私立単願の生徒が増えているのは、数年前にはなかった現象であると思う。少子化の影響で、お金がかかってもよいと思う家庭が増えているのではないかと感じる。また、私立高校の合格発表が早くに決まり、公立の入試実施はその後である。3 月まで緊張を強いられるということも影響しているのかもしれない。私立か公立、どちらを強く勧めるというのを生徒には直接言えない。「湖西高校では〇〇ができる」ということを、学校説明会等を通してアピールしていてもらいたい。

(鈴木委員)

> 愛知も同じような現象が起きているようだ。私立高の授業料無償化も多少影響していると思う。

(中島委員)

> 何年かかけて湖西高校の特徴を辛抱強くアピールしていくしかないと思う。(彦坂委員)

> 保護者のとらえ方も重要である。その点から、高校は小中に比べ P T A があまり活発ではないが、今後はこの事業の中で、P T A の方も交えて活動を行っていきたいと考えている。(校長)